

目次 ◆ 新年のご挨拶 ◆ 大腸がんについて～最近の治療～
◆ 各科外来診療担当表



院長 森 望

みなさん、新年おめでとうございます。
良いお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

当病院は、大阪船員保険病院から独立行政法人「地域医療機能推進機構 JCHO（ジェイコー）」大阪みなど中央病院に変わってから今年で3年目を迎えようとしています。JCHOには日本全国で57病院が属しており、地域の住民、行政、関係機関と連携し、地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献する医療を提供することを目的にしています。

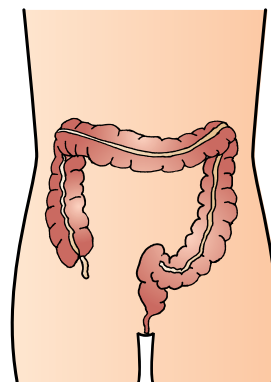
厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度の要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの導入を推進しています。JCHOもこの方針に沿って、昨年4月、全国57病院に地域包括ケア推進室が設置されました。当病院では地域包括ケア推進室を中心に準備を行い、昨年9月に急性期病棟の一つを地域包括ケア病棟（45床）に変更し、稼働を始めました。昨年は、急性期病棟入院の患者さんで少し長い入院が必要な方を地域包括ケア病棟に転棟してもらい、通院で可能になる状態まで入院加療をする患者さんのみに限らせてもらいましたが、これから在宅療養をされている方などに対して一時的に代替ケアするための入院（レスパイト入院）を導入する準備を進めています。今後、行政、介護施設、地域包括支援センターなどと連携を取りながら、地域包括ケアシステムの中で、当病院が医療の中心的役割を担い地域包括ケアシステム作りに貢献していきたいと考えています。

昨年も医師の異動があり、腎臓内科では越智部長から川田部長に替わり、透析患者の増加に対応できる体制整備を行いました。外科では2名の異動があり、下部消化器疾患（大腸癌、痔疾患など）を専門とする向坂先生、山中先生が赴任されました。山中先生は女医さんですので、女性の患者さんには診療を受けやすい環境になりました。昨今の医師不足で、昨年4月から小児科は非常勤体制になり、また泌尿器科は常勤医2名から安永部長一人体制になり、地域の皆様にはご不自由をお掛けしています。これらを解消するため、引き続き、努力していきたいと考えています。

本院の建物は老朽化が進み、新耐震基準を満たすように建て替えが必要になっていますが、病院運営をしながらの現存の敷地での建て替えは不可能であることから、港区の弁天町駅前土地区画整理記念事業に基づき、平成31年度に弁天町駅前用地に新築移転を計画しています。今年から計画がさらに具体化してきますので、各方面の方々からご意見を頂戴しながら、病院ならびに地域医療の発展につなげるため、尽力する所存です。

従来通り、当院は、医師をはじめ、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、薬剤師、栄養士、理学療法士など、全ての部門が一致協力して、安心でき信頼できる医療を提供いたします。

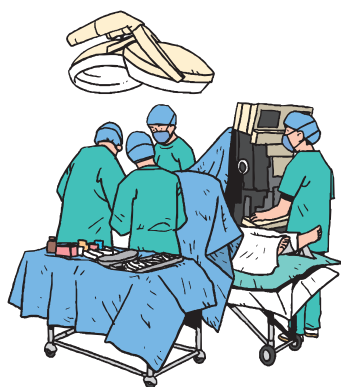
がんは日本人の死因の第1位で、部位別の統計では、大腸がんは男性では第3位、女性では第1位です。今後、大腸がん罹患する人はさらに増えると予測されています。一方で、大腸がんは、早期発見すれば、ほぼ100%の割合で治すことが可能とされています。ただ、早期の大腸がんは症状がないため、便潜血検査による検診が行われています。もし、便潜血が陽性となれば、次に大腸内視鏡検査をおこなうことが一般的です。



もし大腸がんが発見されたら、次は治療です。大腸がん診療ガイドラインでは、進行度をステージで分類し、それぞれのステージごとに推奨する治療を提示しています。早期の大腸がんの一部はリンパ節転移がまれなため、大腸内視鏡での内視鏡下粘膜切除術（EMR）や内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）のみで治療が終了します。しかし、もう少し進行してくるとリンパ節転移の可能性が高くなり、内視鏡治療では十分でないため、リンパ節郭清をとらなければならない手術が必要となります。

外科手術

大腸がんの手術では、腹腔鏡下手術が半数以上を占めるようになりました。腹腔鏡下手術は従来の開腹手術とくらべ、体への侵襲が少なく、術後の痛みや合併症が少ない、術後の回復が早いなど、多くの利点があるためです。そして、近年、さらに侵襲を少なくし、整容性を高めた、Reduced Port Surgery（RPS）が広まりつつあります。RPSは、直径3ミリほどの細径鉗子を用いる方法と、一箇所の小開腹のみで手術をおこなう単孔式手術の2種類に分類されます。当院でも、盲腸や上行結腸癌に対しては単孔式手術を行っていますが、傷はおなかを3～4cmほど切開するだけで、時間が経つとほとんど判らなくなるくらい小さい傷です。もちろん、リンパ節郭清など、がんの根治性に関わる部分は従来の腹腔鏡下手術と同程度に行えます。



ERAS

手術方法だけではなく、術前術中術後の管理にもあたらしい概念が誕生しています。大腸がんの手術治療では、ERAS（Enhanced Recovery After Surgery）プログラムというものを使います。これは、術後回復力の強化、術後合併症減少、入院期間短縮、安全性向上、経費節減などをめざすプログラムです。ERASプログラムは様々な要素（element）から構成されており、以下にその一部をご紹介します。

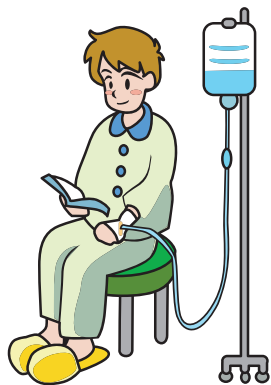
まず、手術をうける患者さんには、術前に治療に関して、術式、麻酔方法、合併症、周術期の経過などに関して説明を受けていただき、イメージを持ちやすくし、精神的なストレスを軽減します。周術期には、感染予防のための抗菌薬投与、術中の保温、経鼻胃管の手術室での抜去、深部静脈血栓症予防のための間欠的空気圧迫法などをおこないます。

術後早期の離床は、腸蠕動の回復を促進し、呼吸器合併症が減少することが知られています。疼痛緩和も早期の離床につながるため、傷の小さな腹腔鏡下手術を行い、硬膜外麻酔という鎮痛方法を通常の鎮痛薬と併用します。その結果、翌日から歩行が可能となっています。尿管カテーテルやお腹のなかに入ったドレーン、点滴などのチューブ類は離床の妨げとなるので、早期抜去を行います。術後早期の経口摂取も、腸蠕動の早期回復、術後の合併症の減少、早期の排ガス、排便に寄与するので、手術当日もしくは翌朝から飲水を開始し、2日目から食事を開始しています。その他の要素については割愛しますが、このプログラムのおかげで術後4、5日目には、ほとんどの患者様が、退院可能な状態まで回復しています。



化学療法

手術はとても効果的な治療方法ですが、もう一つの治療の柱として化学療法があります。根治的手術を行うことが困難な患者様には抗がん剤治療が行われます。抗がん剤は、がん細胞を破壊する薬剤ですが、全身に投与するため、正常な細胞も影響を受け、まれに、重篤な副作用がみられます。これに対し、近年、がんの特定の分子を標的とする分子標的薬が登場しました。分子標的薬は、副作用が少ないという特徴があります。大腸がんの治療にもこれまでにベバシズマブ、セツキシマブ、パニツムマブ、レゴラフェニブなどの分子標的薬が保険適応となりました。



もう一つの化学療法における進歩は、副作用に対する治療法、つまり支持療法の開発が進んだことです。抗がん剤治療は、副作用のために治療が進まないことがあります。

例えば、吐き気や嘔吐、食欲不振は治療意欲にかかわるため、セロトニン（5HT₃）受容体拮抗薬とデキサメサゾンというステロイドが予防的に投与されてきましたが、近年、NK1受容体拮抗薬という薬が発売され、こういった症状をよりおさえることが可能となりました。また、皮膚障害には、予め保湿剤や抗生剤を投与することが、有効であることがわかりました。



がんの治療というと、つらいイメージをお持ちの方も多しとおもいますが、今回お話しましたように、がんの治療は、飛躍的に進歩し、確実に負担は軽減されてきています。

最後に、やはり早期発見に勝るものはないので、冒頭にご説明しましたように、是非便鮮血検査を毎年受けていただきたいとおもいます。

各科外来診療担当表

平成28年1月1日現在

診療科名			月	火	水	木	金
内科	午前	1診 2診 3診 4診 5診 6診	國重(循環器) 西谷(糖尿病) 川田(腎・高血圧) 加藤(初診) 辻(初診)	別府(循環器) 村田(消化器) 岩崎(糖尿病) 川田(腎・高血圧) 國重(初診) 城(初診)	水上(循環器) 辻(消化器) 高比(糖尿病) 伊藤(腎・高血圧) 小杉(初診) 綿島(初診)	山元(循環器) 三好(消化器) 楠(糖尿病) 伊藤(腎・高血圧) 水上(初診) 作道(初診)	加藤(循環器) 城(消化器) 本田(呼吸器) 綿島(腎・高血圧) 山元(初診) 伊藤(初診)
	午後		加藤(循環器、S健) 作道(腎・高血圧)	國重(循環器) 辻(消化器、S健) 金村(呼吸器) 木村(甲状腺)	山元(循環器、S健) 作道(腎・高血圧) 木村(甲状腺)	別府(循環器、S健) 楠(糖尿病) 綿島(腎・高血圧) 禁煙外来(15時～)	小杉(循環器) 城(消化器) 本田(呼吸器) 三好(消化器) 村田(消化器)
小児科	午前	1診 2診	小川	輪番制	小池	矢野	濱本
	午後		赤木 アレルギー 予防接種・神経		輪番制 乳児健診 予防接種・心理		
外科	午前	1診 2診	遠藤	谷口 山中	手術	谷口 向坂(サキサカ)	輪番制
	午後		手術	輪番制(乳腺・甲状腺外来)	手術	本郷(脳神経外科外来)	手術
整形外科	午前	1診 2診 3診	行方(脊椎外科) 久我	行方	篠田 岩名(人工関節)	岩名 大野(小児整形外科)	久我 大野
	午後				篠田		
形成外科	午前	1診 2診	藤山 花岡	藤原	藤山 花岡	河合(一般外来)	高木
	午後	1診 2診		久保(一般外来予約のみ) (14時30分～16時) 終日手術		戸田(静脈腫美容外科【予約】) (14, 28日, 14時～15時30分) 終日手術	
皮膚科	午前	1診 2診	西井	西井	西井(20日、予約のみ) (6, 13, 27日、新患・予約)	西井	西井
	午後		予約検査 外来手術	予約検査 外来手術		外来手術	西井(【予約】)
泌尿器科	午前	1診	安永	山本	安永	手術	安永
	午後		回診	手術・検査	検査	手術	検査
婦人科	午前			輪番制(検診のみ)	梶本(検診のみ)	東(検診のみ)	
	※ 現在、午前・午後ともに一般診療は、行っておりません。						
眼科	午前	1診 2診	檀上 堀本	石田 堀本	檀上 佐藤	檀上 石田	檀上(15日)、石田(8, 22, 29日) 堀本
	午後	1診 2診	檀上 堀本	手術	堀本	檀上	堀本
耳鼻咽喉科	午前	1診	篠田 裕	竹林	篠田 裕	森(1診) 竹林(2診)	雪辰
	午後		手術		手術		

- 診療受付時間…午前8時30分～午前11時30分 午後1時～3時
- 午後は完全予約制です。
- () 内は、各医師が診療を行う日付です。

※S健…船員手帳所持者に対する健康診断
※異動等により変更になる場合があります
各科外来にお問い合わせ下さい

※ 印刷の都合上時間のずれが発生し、担当医の変更がございますが、あしからず御了承下さい。



大阪みなと中央病院／地域医療連絡室

〒552-0021 大阪市港区築港1-8-30

TEL 06-6572-5721(代表) FAX 06-6572-6713

<http://minato.jcho.go.jp/>

